

2 火災の概要

(1) 概 要

平成21年中における火災の概況は、出火件数945件、これらの火災による被害は、損害額19億1,572万7千円、死者30人、負傷者113人、焼損棟数704棟、建物焼損床面積23,987㎡、同表面積2,740㎡、林野焼損面積225a、り災世帯数436世帯、り災人員1,166人となっている。(表2-1)

表2-1 平成21年中の火災の概況

区 分		平成21年 (A)	平成20年 (B)	増減数 (C)=A-B	増減率 (C/B*100)	
出火件数	建物火災	443 件	494 件	51 件	10.3 %	
	林野火災	54 件	34 件	20 件	58.8 %	
	車両火災	119 件	125 件	6 件	4.8 %	
	船舶火災	0 件	0 件	0 件	- %	
	その他の火災	329 件	299 件	30 件	10.0 %	
	計	945 件	952 件	7 件	0.7 %	
焼損棟数	全 焼	166 棟	172 棟	6 棟	3.5 %	
	半 焼	62 棟	62 棟	0 棟	0 %	
	部 分 焼	235 棟	219 棟	16 棟	7.3 %	
	ぼ や	241 棟	245 棟	4 棟	1.6 %	
	計	704 棟	698 棟	6 棟	0.9 %	
焼損面積	建物	床面積	23,987 ㎡	28,282 ㎡	4,295 ㎡	15.2 %
		表面積	2,740 ㎡	3,548 ㎡	808 ㎡	22.8 %
	林 野	225 a	549 a	324 a	59.0 %	
死 者		30 人	30 人	0 人	0 %	
負 傷 者		113 人	149 人	36 人	24.2 %	
り災世帯	全 損	111 世帯	95 世帯	16 世帯	16.8 %	
	小 半 損	325 世帯	311 世帯	14 世帯	4.5 %	
	計	436 世帯	406 世帯	30 世帯	7.4 %	
り 災 人 員		1,166 人	1,180 人	14 人	1.2 %	
火災損害額	建物火災	建 物	1,180,771 千円	1,123,840 千円	56,931 千円	5.1 %
		収 容 物	599,331 千円	582,542 千円	16,789 千円	2.9 %
		計	1,780,102 千円	1,706,382 千円	73,720 千円	4.3 %
	林野火災	599 千円	104 千円	495 千円	476.0 %	
	車両火災	54,143 千円	60,975 千円	6,831 千円	11.2 %	
	船舶火災	0 千円	0 千円	0 千円	- %	
	その他火災	73,086 千円	49,846 千円	23,240 千円	46.6 %	
	爆 発	7,797 千円	50 千円	7,747 千円	15,494.0 %	
	合 計	1,915,727 千円	1,817,357 千円	98,370 千円	5.4 %	
出 火 率 (人口1万人あたりの出火件数)		4.51 件	4.54 件			

出火件数を前年と比べると、総出火件数で7件（0.7%）の減少となっており、火災種別ごとに見ると建物火災51件（10.3%）、車両火災6件（4.8%）減少しており、林野火災20件（58.8%）、その他の火災30件（10.0%）増加している。

損害額を前年と比べると、総額で9,837万（5.4%）増加している。火災種別ごとに見ると、建物火災7,372万（4.3%）、林野火災49万5千円（476.0%）、その他火災2,324万円（46.6%）、爆発774万7千円（15,494.0%）増加し、車両火災683万2千円（11.2%）減少している。

次に、平成21年中の火災を1日あたりで見ると、出火件数2.6件、損害額524万9千円、建物焼損棟数1.9棟、建物焼損床面積65.7㎡、建物焼損表面積7.5㎡、林野火災面積0.6aとなっている。（表2-2）

表2-2 1日あたりの火災による損害

区 分	単位	平成21年(A)	平成20年(B)	増減数(A-B)
出 火 件 数	件	2.6	2.6	0
損 害 額	千円	5,249	4,979	270
建 物 焼 損 棟 数	棟	1.9	1.9	0
建 物 焼 損 床 面 積	㎡	65.7	77.5	11.8
建 物 焼 損 表 面 積	㎡	7.5	9.7	2.2
林 野 焼 損 面 積	a	0.6	1.5	0.9

(2) 出火件数

ア 火災種別出火件数

出火件数を火災種別ごとで見ると、建物火災は構成比46.9%で最も高い比率を占めており、次いでその他の火災（堤防・河川敷・空き地等の枯れ草等の火災）、車両火災、林野火災（原野・牧野・天然林・人工林の火災）の順となっている。

前年構成比と比べると、林野火災、その他の火災が増加し、建物火災、車両火災が減少した。（表2-3）

表2-3 火災種別出火件数の構成比

単位：件、%

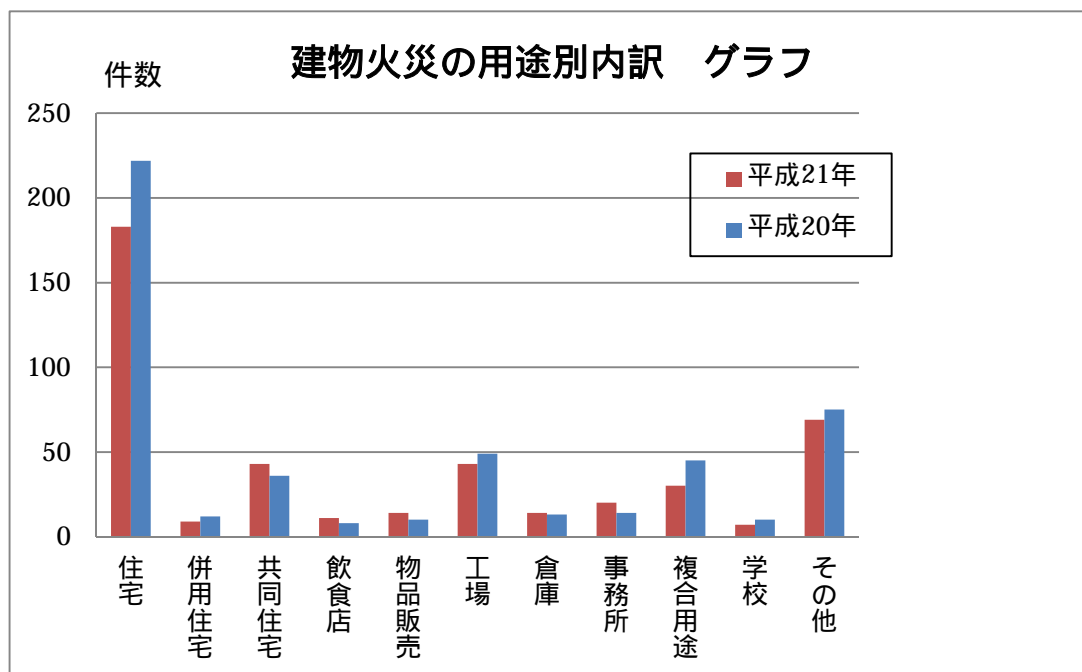
	平成21年		平成20年	
	出火件数	構成比	出火件数	構成比
建 物 火 災	443	46.9	494	51.9
林 野 火 災	54	5.7	34	3.6
車 両 火 災	119	12.6	125	13.1
船 舶 火 災	0	0.0	0	0.0
そ の 他 の 火 災	329	34.8	299	31.4
計	945	100.0	952	100.0

イ 建物火災の用途別内訳

建物火災の出火件数を建物の用途別で見ると、住宅が183件（41.3%）、併用住宅が9件（2.0%）共同住宅が43件（9.7%）発生しており、これらを合わせると53.0%となり、建物火災全体の半数強を占めている。件数順では次いで工場、複合用途（一つの事務所でも2種以上の異なった事業を兼ねて行っている等）、事務所の順となっている。（表2-4）

表 2 - 4 建物火災の用途別内訳

区 分		住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	物品販売	工場	倉庫	事務所	複合用途	学校	その他	合計
平成21年	件数	183	9	43	11	14	43	14	20	30	7	69	443
	構成比	41.3	2.0	9.7	2.5	3.2	9.7	3.2	4.5	6.8	1.6	15.6	100.0
平成20年	件数	222	12	36	8	10	49	13	14	45	10	75	494
	構成比	44.9	2.4	7.3	1.6	2.0	9.9	2.6	2.8	9.1	2.0	15.2	100.0



ウ 季節別出火件数

出火数を季節別にみると、4月～6月が316件（33.4％）と最も多く発生しており、次いで1月～3月238件（25.2％）、7月～9月197件（20.9％）、10月～12月194件（20.5％）の順となっている。

前年に比べると、1月～3月、7月～9月の比率は減少しているが、4月～6月の比率は増加している。10月～12月は同比率となっている。（表2-5）

表 2 - 5 季節別出火状況

区 分		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	合計
平成21年	出火件数	238	316	197	194	945
	構成比	25.2	33.4	20.9	20.5	100.0
平成20年	出火件数	296	225	236	195	952
	構成比	31.1	23.6	24.8	20.5	100.0

(3) 出火原因

出火件数を出火原因別に見ると、放火による火災が108件（11.4％）で1位となっている。続いて、たばこ・たき火が各82件（8.8％）、放火の疑い77件（8.1％）、こんろ75件（7.9％）、火遊び35件（3.7％）の順となっている。

昨年と比べると、放火35件（47.9％）、放火の疑い25件（48.1％）等が増加している。（表2-6）

表 2 - 6 出火原因別の出火件数と出火原因比率

	平成 2 1 年 (A)			平成 2 0 年 (B)			増減 (C) A - B	増減率 (C / B) * 100
	順位	件数	構成比	順位	件数	構成比		
放 火	1	108	11.4	4	73	7.7	35	47.9
た ば こ	2	82	8.7	1	94	9.9	12	12.8
た き 火	2	82	8.7	2	84	8.8	2	2.4
放 火 の 疑 い	4	77	8.1	5	52	5.5	25	48.1
こ ん ろ	5	75	7.9	3	75	7.9	0	0
火 遊 び	6	35	3.7	6	36	3.8	1	2.8
ス ト - プ	7	26	2.8	7	34	3.6	8	23.5
火 入 れ	8	25	2.6	9	19	2.0	6	31.6
電 灯 電 話 等 の 配 線	9	23	2.4	8	24	2.5	1	4.2
配 線 器 具	10	7	0.7	10	15	1.6	8	53.3
そ の 他		229	24.2		298	31.3	69	23.2
不 明 (調 査 中 を 含 む)		176	18.6		148	15.5	28	18.9
計		945	100.0		952	100.0	7	0.7

(4) 損 害 額

平成 2 1 年中の火災による損害額は、19 億 1,572 万 7 千円で、前年に比べ 9,837 万円増加しており、1 件あたりの損害額も 202 万 7 千円と、前年に比べ 11 万 8 千円増加した。

火災種別ごとの損害額は、建物火災によるものがほとんどで全体の 92.9% を占めている。次いで、その他火災 (3.8%)、車両火災 (2.8%) の順となっている。

火災種別ごとに 1 件あたりの損害額を前年と比べると、爆発 129 万 1 千円、建物火災 56 万 4 千円、その他火災 5 万 5 千円、林野火災が 8 千円増加し、車両火災が 3 万 3 千円減少している。(表 2 - 7)

表 2 - 7 火災種別損害額

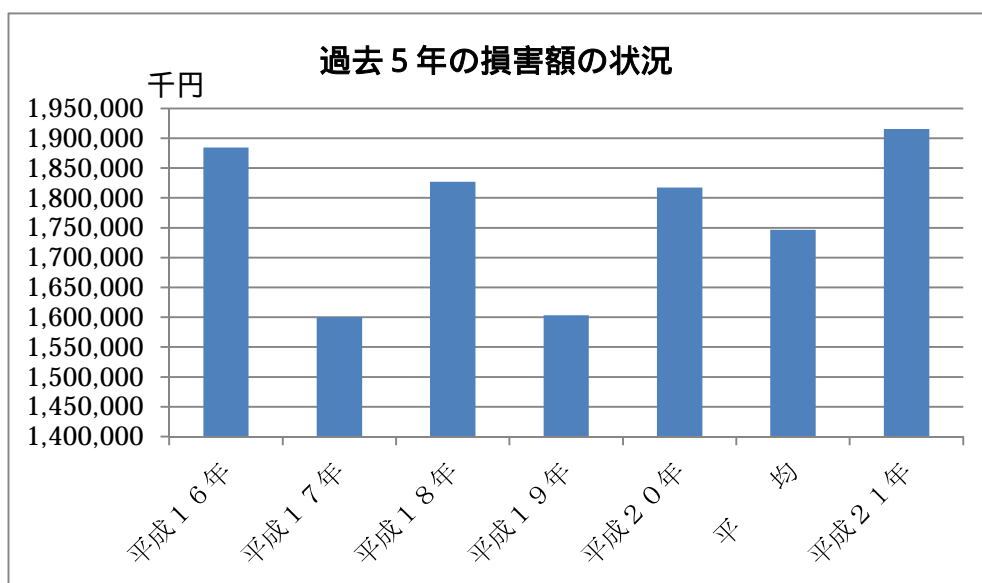
(単 位 : 千 円)

	平成 2 1 年			平成 2 0 年			増 減	
	損害額	1 件あた り損害額	構成 比	損害額	1 件あた り損害額	構成 比	1 件あた り損害額	率
建 物 火 災	1,780,102	4,018	92.9	1,706,382	3,475	93.9	564	16.3
林 野 火 災	599	11	0.1 以下	104	3	0.1 以下	8	262.6
車 両 火 災	54,143	455	2.8	60,975	488	3.4	33	6.7
そ の 他 火 災	73,086	222	3.8	49,846	167	2.7	55	33.3
爆 発	7,797	1,300	0.4	50	8	0.1 以下	1,291	15,494.0
計	1,915,727	2,027	100.0	1,817,375	1,909	100.0	118	6.2

次に、平成 2 1 年中の火災による損害額を過去 5 年間の平均損害額と比べると、総額、建物火災、及びその他火災は平均を上回っており、林野火災、車両火災及び爆発は平均を下回っている。(表 2 - 8)

表 2 - 8 過去 5 年間の損害額の状況

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	爆発	総額
平成 1 6 年	1,769,416	8,227	62,193	42,078	2,759	1,884,673
平成 1 7 年	1,491,221	2,791	56,489	36,575	12,853	1,599,929
平成 1 8 年	1,596,068	959	67,373	14,010	148,436	1,826,846
平成 1 9 年	1,540,591	1,261	42,795	18,785	0	1,603,432
平成 2 0 年	1,706,382	104	60,975	49,846	50	1,817,357
平 均	1,620,754	2,668	57,965	32,259	32,820	1,746,447
平成 2 1 年	1,780,102	599	54,143	73,086	7,797	1,915,727



(5) 火災による死者及び負傷者

平成 2 1 年中の火災による死者数は 3 0 人で、前年と同数。なお、放火自殺者を除いた死者は 1 8 人で、前年に比べ 4 人減少している。

また、負傷者は、1 1 4 人で、前年に比べ 3 5 人 (2 3 . 5 %) 減少している。

ア 火災種別ごとの死者数

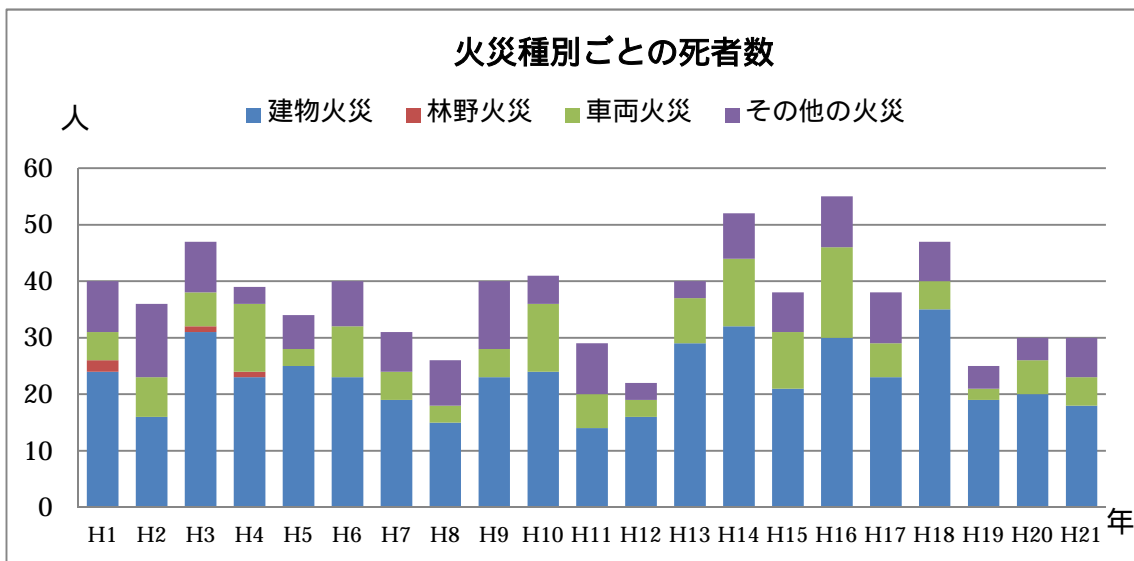
前年の死者と比べると、その他火災が 3 人増加しており、建物火災が 2 人、車両火災が 1 人減少している。過去 2 0 年の平均と比べると、すべての火災が平均を下回った。(表 2 - 9)

2 - 9 火災種別ごとの死者数

区 分	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
建 物 火 災	24	16	31	23	25	23	19	15	23	24
林 野 火 災	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	5	7	6	12	3	9	5	3	5	12
その他の火災	9	13	9	3	6	8	7	8	12	5
計	40	36	47	39	34	40	31	26	40	41

区 分	H11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
建 物 火 災	14	16	29	32	21	30	23	35	19	20
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	6	3	8	12	10	16	6	5	2	6
その他の火災	9	3	3	8	7	9	9	7	4	4
計	29	22	40	52	38	55	38	47	25	30

区 分	平均	H21
建 物 火 災	23.1	18
林 野 火 災	0.2	0
車 両 火 災	7.1	5
その他の火災	7.2	7
計	37.5	30



イ 火災種別ごとの負傷者

火災種別ごとの負傷者は、建物火災によるものが94人で、負傷者総数の82.5%を占めている。次いで車両火災11人(9.6%)その他火災9人(7.9%)の順となっている。

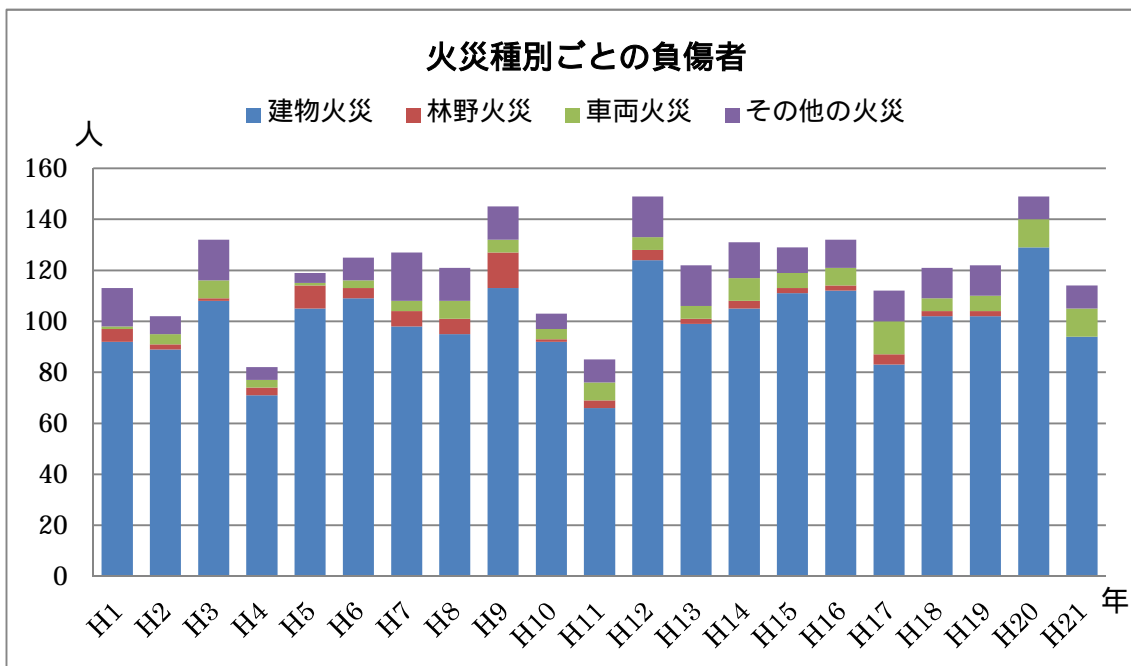
前年の負傷者と比べると、全体で35人減少しており、火災種別ごとに見ると、建物火災が35人減少しており、林野火災、車両火災、その他火災は増減なし。過去20年間の平均と比べると、車両火災が平均を上回っており、建物火災、林野火災、その他火災が平均を下回っている。(表2-10)

表2-10 火災種別ごとの負傷者

区 分	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	H10
建 物 火 災	92	89	108	71	105	109	98	95	113	113
林 野 火 災	5	2	1	3	9	4	6	6	14	92
車 両 火 災	1	4	7	3	1	3	4	7	5	1
その他の火災	15	7	16	5	4	9	19	13	13	4
計	113	102	132	82	119	125	127	121	145	6

区 分	11	12	13	14	15	16	17	18	19	H20
建 物 火 災	66	124	99	105	111	112	83	102	102	129
林 野 火 災	3	4	2	3	2	2	4	2	2	0
車 両 火 災	7	5	5	9	6	7	13	5	6	11
その他の火災	9	16	16	14	10	11	12	12	12	9
計	85	149	122	131	129	132	112	121	122	149

区 分	平均	H21
建 物 火 災	100.3	94
林 野 火 災	3.8	0
車 両 火 災	5.7	11
その他の火災	11.4	9
計	121.1	114



ウ 火災による死者の生じた原因

死者の生じた原因は放火自殺12人(40.0%)逃げ遅れ8人(26.7%)の順となっている。(表2-11)

表2-11 火災による死者の生じた原因

単位：人・%

区 分	16年	17年	18年	19年	20年	平均	21年	構成比
逃 げ 遅 れ	14	13	24	11	15	15.4	8	26.7
出 火 後 再 進 入	1	0	0	0	0	0.2	1	3.3
着 衣 着 火	4	5	5	2	3	3.8	2	6.7
放 火 自 殺	20	13	8	8	8	11.4	12	40.0
その他(不明・調査中)	16	7	10	4	4	8.2	7	23.3
計	55	38	47	25	30	39.0	30	100.0

エ 年齢別の死者数

年齢別の火災による死者は、65歳以上が18人(60.0%)と多く、次いで6歳から64歳が12人(40.0%)の順となっている。(表2-12)

表 2 - 12 年齢別の死者数

単位：人・%

区 分	16年	17年	18年	19年	20年	平均	21年	構成比
0歳～5歳	3	0	1	0	0	0.8	0	0.0
6歳～64歳	36	20	20	11	11	19.6	12	40.0
65歳以上	16	18	26	13	13	17.2	18	60.0
不明	0	0	0	1	1	0.4	0	0.0
計	55	38	47	25	25	38.0	30	100.0

オ 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係

死者の生じた原因と死者の年齢別の関係を見ると、6歳から64歳は放火自殺、65歳以上は逃げ遅れが最も多くなっている。(表2-13)

表 2 - 13 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係

単位：人

区分	0歳～5歳	6歳～64歳	65歳以上	不明	計
逃げ遅れ	0	2	6	0	8
出火後再進入	0	0	1	0	1
着衣着火	0	0	2	0	2
放火自殺	0	8	4	0	12
その他(不明・調査中)	0	2	5	0	7
計	0	12	18	0	30

カ 死因別の状況

死因別の火災による死者数は、自殺12人(40.0%)が最も多く、次いで一酸化炭素中毒・窒息9人(30.0%)、火傷5人(16.7%)となっている。(表2-14)

表 2 - 14 死因別の状況

単位：人・%

区 分	16年	17年	18年	19年	20年	平均	21年	構成比
一酸化炭素中毒・窒息	15	11	12	4	8	10.0	9	30.0
火傷	10	8	24	12	11	13.0	5	16.7
骨折・打撲等	1	0	0	0	0	0.2	0	0.0
自殺	20	13	8	8	8	11.4	12	40.0
その他	0	2	0	1	2	1.0	2	6.7
不明	9	4	3	0	1	3.4	2	6.7
計	55	38	47	25	30	39.0	30	100.0

キ 死者の男女別の状況

男女の火災による死者数は、男性18人(60.0%)、女性12人(40.0%)となっている。(表2-15)

表 2 - 15 火災による男女別状況

単位：人・() 構成比%

区 分	16年	17年	18年	19年	20年	21年
男性	35(63.6)	25(65.8)	31(66.0)	14(56.0)	16(53.3)	18(60.0)
女性	20(36.4)	13(34.2)	16(34.0)	11(44.0)	14(46.7)	12(40.0)
計	55	38	47	25	30	30

(6) 過去20年間の火災種別出火件数の推移

平成21年の出火件数は945件で、過去20年間の平均出火件数1,062件と比較すると、117件少なくなっている。

火災種別ごとに見ると、建物火災は443件と過去20年間で1番目、林野火災は54件で11番目、車両火災は119件で8番目に少なく、平均を下回っているが、その他火災は329件で8番目に多い件数となり、平均を上回っている。(表2-16)

表2-16 過去20年間の火災種別出火件数の推移と平均

区分	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
建物火災	595	543	551	572	602	607	547	566	567	532	496
林野火災	93	102	53	68	105	120	118	95	99	49	67
車両火災	92	114	106	102	93	118	142	128	138	161	144
船舶火災	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0
その他の火災	330	288	236	248	319	490	399	409	324	244	239
計	1,110	1,047	946	990	1,120	1,335	1,207	1,200	1,129	986	946

区分	12	13	14	15	16	17	18	19	20	平均	21
建物火災	539	555	560	529	539	524	488	529	494	547	443
林野火災	46	63	49	27	48	46	30	49	34	68	54
車両火災	144	167	146	151	151	133	134	112	125	130	119
船舶火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の火災	295	375	357	235	314	266	337	332	299	317	329
計	1,024	1,160	1,112	942	1,052	969	989	1,022	952	1,062	945

